

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校の概要

1 課程・学科・学期制

単位制による全日制課程
専門学科（理数科）
二学期制

2 入学定員(予定)

240人（6学級）

3 開校時期

平成21年4月

4 設置場所

横浜市鶴見区小野町6番地
敷地面積 約29,200㎡
延床面積 約25,000㎡

5 構造・規模

鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
地上5階

6 整備手法

PFI事業による整備
契約金額 約94.6億円
契約期間 平成18年2月～平成33年3月



7 校名候補選定の経緯

市民の公募により寄せられた校名候補案の中から、教育委員会において下記の理由により選定しました。

選定理由

- 横浜の教育改革の先導的な役割を担う学校であるため、「横浜」の名を冠する。
- 京浜臨海部研究開発拠点の「横浜サイエンスフロンティア地区」に立地することをアピールする。
- 日本で初めて校名に「サイエンス」が付いた高校とする。

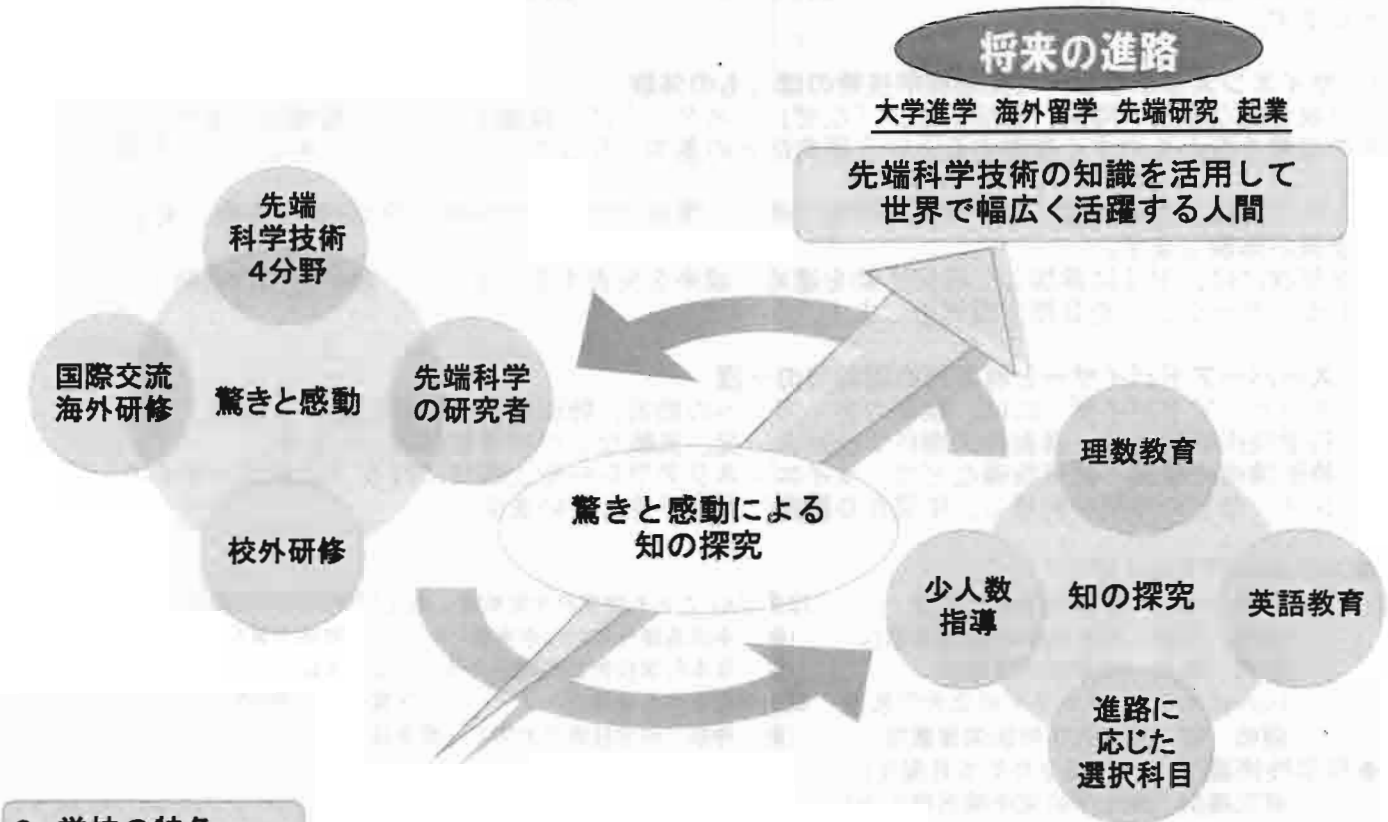
8 教育理念等

(1) 教育理念

- 学問を広く深く学ぼうとする精神と態度を培いながら、生徒一人ひとりが持つ潜在的な独創性を引き出します。
- 日本の将来を支える論理的な思考力と鋭敏な感性を育みます。
- 先端的な科学の知識・技術、技能を活用して、世界で幅広く活躍する人間を育成します。

(2) 教育方針 「驚きと感動による知の探究」

先端科学技術の実験、実習や国際交流などでの「驚きと感動」から生まれる知的好奇心を大切にし、理数教育・英語教育を中心とした「知の探究」へとつなげ、高い学力を育てます。



9 学校の特徴

県内で初めてとなる理数科の専門学科高校であり、サイエンスの力と高い志を持ち、横浜にとどまらず世界で幅広く活躍する人間、地球規模の様々な課題を解決する気概を持った人材の育成を目指します。具体的には次のような特色があります。

(1) 教育課程(カリキュラム)

理数科の条件として、理数科目について25単位以上、理数理科3分野以上を履修することが必要です。

3年次には、国公立理系大学や難関私立大学をはじめ国公立文系大学など、それぞれの進路に合わせた科目の選択が可能です。

また、少人数・習熟度別学習や土曜日及び長期休業期間の活用も積極的に行います。

ア 必修科目

○ 普通科目

「国語総合」、「世界史A」、「日本史A」、「現代社会」、「保健」、「体育」、「英語I」、*1「OCPD I」、「家庭基礎」、「芸術」(音楽I、美術I、書道Iのうちから1科目)

*1OCPD Oral Communication for Presentation and Debate

(プレゼンテーションやディベートに主眼を置いた実践的コミュニケーション活動)

○ 専門科目(理数科目:合計29単位) ※()内の数は、単位数

「理数数学I」(6)、「理数数学II」(6)、「理数数学研究」(3)、「理数化学I」(3)、「理数生物I」(3)、「理数情報」(2)

2年次に、「理数物理I」(3)、「理数化学II」(3)、「理数地学I」(3)のうちから2科目選択

イ 選択科目(3年次に20単位の範囲で選択)

「理数数学探究」、「理数物理II」、「理数化学探究」など理数分野の科目

「現代文研究」、「世界史B」、「発展英語」など進路に対応した科目

ウ 総合的な学習の時間

「サイエンスリテラシー」

(2) 日本史の必修化

横浜サイエンスフロンティア高校は、「先端科学技術の知識を活用して世界で幅広く活躍する人間」の育成を目指しています。

先端科学技術の学習をする上では、特に日本の近代化の過程から先人の輝かしい成果を学び、日本人としての誇りを持つことが期待されています。また、全ての生徒が、わが国の歴史や伝統・文化を理解し、十分な教養を持つことが求められます。

そこで、横浜サイエンスフロンティア高校では、2年次で近現代史を学ぶ「日本史A」を必修とします。

(3) サイエンスリテラシー（先端科学技術のほんもの体験）

「総合的な学習の時間」を活用し、「なぜ」をスタートに、課題を見つけ、論理的に追究し、その成果を分かりやすく発表するという研究活動の基本となる力（サイエンスリテラシー）を育てます。

1年次には、生命科学、ナノテク・材料、環境、情報通信の先端科学技術4分野の実験、実習を全員が体験します。

2年次には、ゼミに参加して研究活動を進め、成果を発表するとともに、最終的には英語でのプレゼンテーションを目指す指導をします。

(4) スーパーアドバイザーと科学技術顧問等の支援

- スーパーアドバイザーには、教育内容・方法への助言、特別講演などをお願いします。
- 科学技術顧問には、講義や先端科学技術の研究、実験などの指導をお願いします。
- 特別講演や講義、研究指導などは、サイエンスリテラシーや土曜日に行う「サタデーサイエンス」などの時間を利用し、年間50講座以上を予定しています。

◆スーパーアドバイザー

(常任)	和田 昭允 東京大学名誉教授	はまぎん こども宇宙科学館館長 理化学研究所研究顧問
	小柴 昌俊 東京大学特別栄誉教授	(財)平成基礎科学財団理事長 ノーベル物理学賞受賞(2002年)
	有馬 朗人 元東京大学総長	(財)日本科学技術振興財団会長 元文部大臣
	Harold Kroto フロリダ州立大学教授	横浜市立大学名誉博士 ノーベル化学賞受賞(1996年)
	藤嶋 昭 東京大学特別栄誉教授	(財)神奈川科学技術アカデミー理事長

◆科学技術顧問 (平成20年5月現在)

研究機関 (理化学研究所横浜研究所)	3名
大学関係	19名
企業関係	26社

(5) 横浜市立大学との連携（「横浜市立大学チャレンジプログラム」）

横浜市立大学との連携の一環として、横浜サイエンスフロンティア高校から横浜市立大学国際総合科学部への進学を可能とする特別入学枠（10名程度）が、第一期生から設定されることになっています。

(6) 充実した学習環境

- サイエンスリテラシーや理数理科、さらに科学技術顧問の協力を得て行う先端科学技術実験のための充実した実験室、実験機器が整備されています。
- コミュニケーション能力育成のための*2CALL教室、プレゼンテーションスタジオがあります。
*2 CALL Computer Assisted Language Learning
- 全教室に冷暖房・校内LAN、全普通教室にプロジェクターが完備されています。

(7) コンピュータを活用した学習

- 400台の生徒用コンピュータをコミュニケーションスペースや自習室など校内の各所に配置して、校内のどこでもコンピュータが使える環境を整備します。
- 全ての普通教室に設置されたプロジェクターを活用した授業を行います。
- 校内や自宅からもアクセスできる「e-Learning」システムを導入し、授業や補講などで使用した資料や課題などが閲覧でき、いつでも生徒が予習や復習を行うことができます。

(8) 国際交流

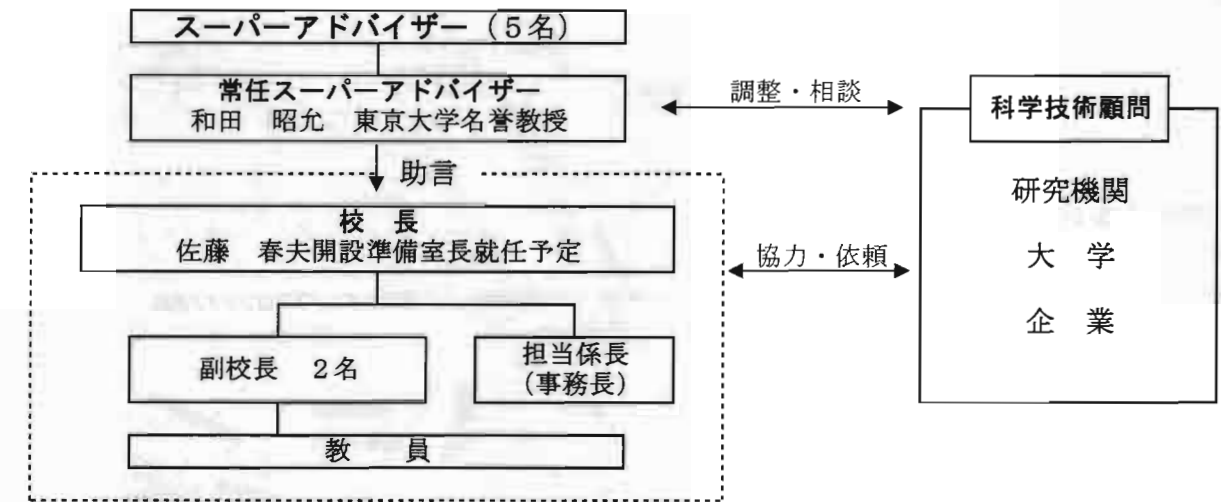
世界で幅広く活躍する人材の育成を図るために、校内での学習活動の結果を実践する場として、海外研修旅行や国際交流プログラムを行います。

- 海外研修旅行（2年次の秋に全員参加で実施する海外での修学旅行）
- 国際交流プログラム（希望者を対象に行う、海外姉妹校との交流プログラム）

10 学校組織

スーパーアドバイザーの指導・助言や科学技術顧問との連携・協力が効果的に機能する組織を整備します。

また、生徒一人ひとりを大切に、すべての生徒が進路実現できる校内の組織を編成します。



11 教員研修

横浜サイエンスフロンティア高校に配置する教員を育成する目的で、平成14年度から、大学、大学院、先進的な高校に1年間の派遣研修を行っています。

年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
人数	1名	4名	2名	2名	1名	3名	3名

12 通学区域及び入学者の募集

通学区域は横浜市全体とし、学区外入学許可限度数については募集定員の30%以内（約70名）とします。

	日程	募集率	選考の方法
前期選抜	県内公立全日制高等学校の前期選抜入試日程（平成21年1月）	募集定員の30%	調査書、面接及び自己表現活動の結果に基づき総合的に選考します。
後期選抜	県内公立全日制高等学校の後期選抜入試日程（平成21年2月）	募集定員の70%	調査書及び学力検査の結果に基づき総合的に選考します。

平成21年度入学者選抜（第1期生）の学力検査は、県共通問題により実施します。
平成22年度入学者選抜（第2期生）の学力検査からは、一部教科に独自問題を導入する予定です。

13 今後のスケジュール

平成20年		平成21年		
7月	26日	1月	下旬	前期入学者選抜
8月	9日	2月	中旬	後期入学者選抜
8月	23日	3月	中旬	入学者オリエンテーション
9月	20日	4月	5日	開校記念式典・入学式
10月				
11月	1日			
11月	3日			
12月	24日			

はじめる、
はじまる、
高校サイエンス。



平成 21 年 4 月、
横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校、開校。

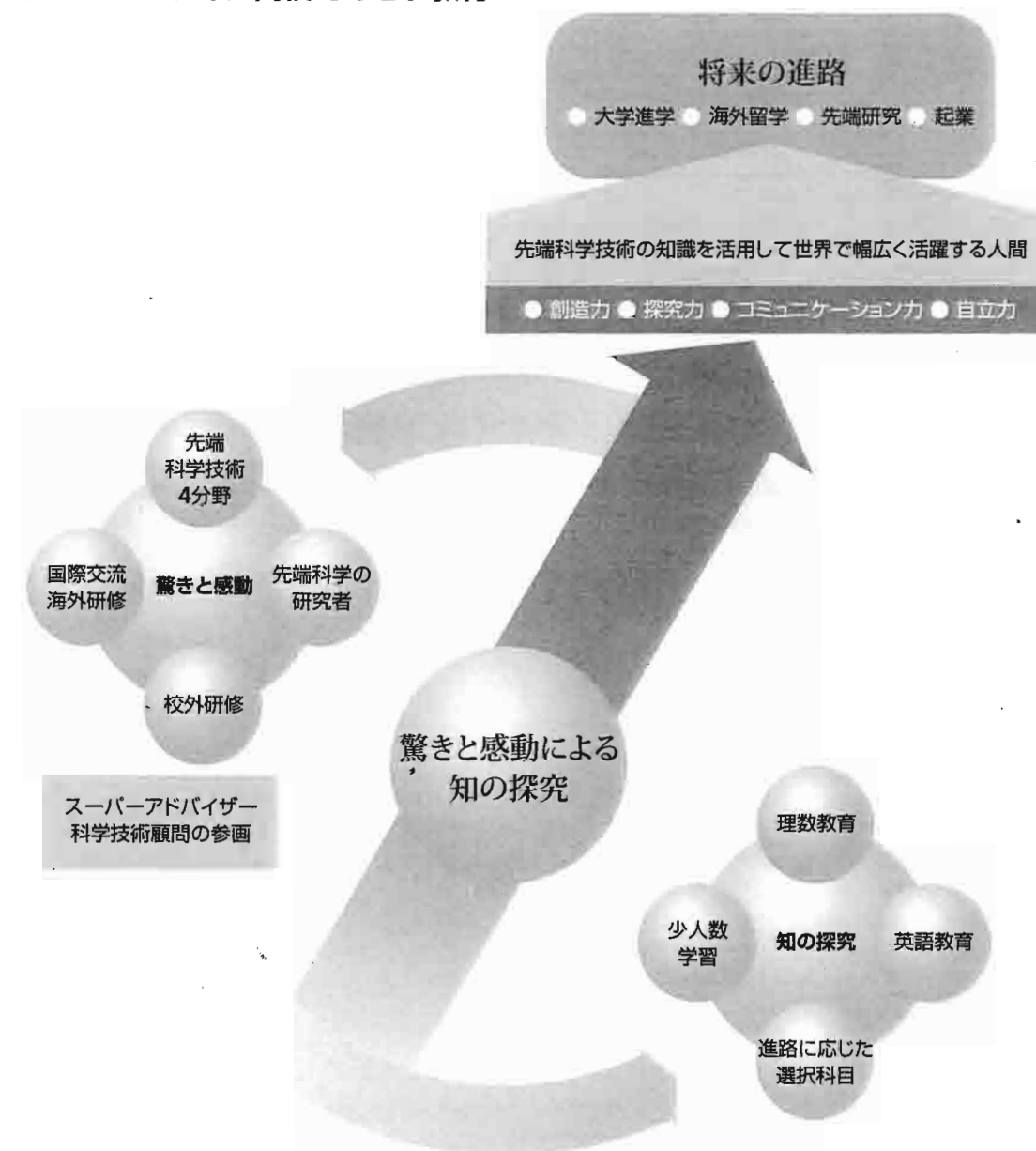
Yokohama Science Frontier High school

※学校の名称は、公式には横浜市立学校条例の一部改正について横浜市の議決を経て確定します。

横浜から地球を考える。

地球温暖化、気候変動。環境問題をはじめ、資源・エネルギー・食糧といった問題を抱えて、人類は危機的状況に少しずつ近づいていると言われています。これら地球規模の課題を解決し、明るい未来を切り拓くことを期待されているのが科学技術であり、その知識を活用できる人材です。特に資源に乏しいこの国の切り札となるのは、科学的なものの見方・考え方と科学する心をもった若い人達です。開港150周年、市政120周年を迎える2009(平成21)年に、京浜臨海部の研究開発拠点である横浜サイエンスフロンティア地区の一角に開校するこの高校は、サイエンスの力と高い志を持ち、横浜にとどまらず世界で幅広く活躍する人間、地球を救う気概を持った生徒を育成していきます。

横浜サイエンスフロンティア高校でめざす教育



真理の探究と進取の雰囲気を作ろう

“サイエンス”は、物事を良く見て、基礎からキチンと筋道立てて考える学問です。文系・理系を問わずあらゆる問題解決のガイドラインです。そこには「知識」を燃料とし「知恵」をエンジンにして「知の探究の大空」を飛ぶ素晴らしさもあります。「サイエンスの考え方」がいかに有用であるかは、文系⇒理系の人はいないが、理系⇒文系の流れが昨今盛んなことから判ります。

サイエンスに限らず学問は全て、心に共鳴させながら学べば楽しい。この共鳴に必要なのは、実験やフィールドワークのホンモノ体験；歴史上の偉人や身近な先輩への憧れ；仲間同士とのざっくばらんな議論；高い視点と広い視野など、そして、じっくり考える時間です。このような「知の探究」の雰囲気が漂い「進取のスリル」を楽しめる高校を、私は学生諸君や先生方と親しく話しながら、創って行きたいと願っています。



横浜サイエンスフロンティア高校
常任スーパーアドバイザー
和田 昭允

Realize your dreams (夢を実現する)

中学生の皆さんに人類と日本の将来が託されています。天から授かった、君にしかない豊かな才能があります。天賦の才能が飛躍的に成長するときは、個人差はありますが、おそらく高校時代ではないでしょうか。諸君の夢の実現はこれからの努力いかんです。本校は「未来を担い、世界で幅広く活躍する人材の育成」を目指します。従って、徳育はもとより、相当の学力の育成・習得は必須の条件と考えます。質の高い教育、密度の濃い授業等を通して、皆さんの夢と希望と意欲を育むことは本校の大切な使命です。夢の実現には困難を伴うこともあります。大切なことは、難しいからといって諦めるのではなく(never give up)、難しいからこそ挑戦する価値があると思います。夢は実現します(dreams come true)。要は、その勇氣と覚悟と意欲があるか否かではないでしょうか。皆さんの志の高い、勇氣ある挑戦を期待しています。



横浜サイエンスフロンティア高校
開設準備室長(校長予定者)
前 神奈川県立柏陽高校校長
佐藤 春夫

スーパーアドバイザー

和田 昭允	わだ あきよし はまざん こども宇宙科学館館長 東京大学名誉教授 理化学研究所 研究顧問
小柴 昌俊	こしば まさとし ノーベル物理学賞受賞(2002年) [財]平成基礎科学財団理事長 東京大学特別名誉教授
有馬 朗人	ありま あきと [財]日本科学技術振興財団会長 元東京大学総長 元文部大臣
Harold Kroto	ハロルド クロトー ノーベル化学賞受賞(1996年) フロリダ州立大学教授 横浜市立大学名誉博士
藤嶋 昭	ふじしま あきら [財]神奈川科学技術アカデミー理事長 東京大学特別名誉教授

敬称略 | 姓不同

科学技術顧問

神谷 勇治	理化学研究所横浜研究所植物科学センター 生長調節研究グループディレクター
河本 宏	理化学研究所横浜研究所免疫・アレルギー-科学総合センター 免疫発生研究チーム チームリーダー
田中 昭子	理化学研究所横浜研究所生命分子システム基盤研究領域 応用生物学研究チーム チームリーダー
笹瀬 巖	慶應義塾大学 理工学部教授
末松 誠	慶應義塾大学 医学部長
富田 勝	慶應義塾大学 環境情報学部教授
柳川 弘志	慶應義塾大学 理工学部教授
中澤 宣也	工学院大学 理事 工学部教授
伊東 利哉	東京工業大学 学術国際情報センター教授
大島 まり	東京大学大学院 情報学環教授 生産技術研究所教授
岡 秀夫	東京大学大学院 教授
原文 雄	東京理科大学 常務理事 工学部教授
沼田 潤	武蔵工業大学 名誉教授
但馬 文昭	横浜国立大学 教育人間科学部教授
種田 保穂	横浜国立大学 教育人間科学部教授 附属鎌倉中学校長
森下 信	横浜国立大学大学院 環境情報研究院教授
窪田 吉信	横浜市立大学 医学研究科教授
小島 謙一	横浜市立大学 名誉教授
五嶋 良郎	横浜市立大学 医学研究科教授
滝田 祥子	横浜市立大学大学院 国際総合科学研究科准教授
西村 善文	横浜市立大学大学院 国際総合科学研究科教授

企業

遠山 明	旭硝子[株] 常務執行役員 中央研究所長
辻 尚志	味の素[株] 執行役員 医薬研究所長
長野 義史	[株]エッチ・ディー・ラボ 代表取締役 社長
渡辺 貞綱	[株]京三製作所 取締役 主席常務執行役員
多和田 悦嗣	キリンホールディングス[株] 常務取締役
殿岡 茂樹	JFEエンジニアリング[株] 専務執行役員 調剤事業所長
窪寺 俊也	[株]鳥津製作所 顧問
柴田 誠剛	新日本石油精製[株] 執行役員 横浜製造所長
西田 克範	月島機械[株] 取締役 執行役員 研究開発本部長
岩宮 浩	[株]鶴見精機 代表取締役 社長
中村 忠彦	TNパートナーズ[LLP] 代表
杉山 昌樹	東京ガス[株] 取締役 常務執行役員 技術開発本部長兼IT本部長
田所 博	東京電力[株] 執行役員 西火力事業所長
田井 一郎	[株]東芝 執行役上席常務 研究開発センター所長
山下 光彦	日産自動車[株] 副社長
土井 敬一郎	日本ビクター[株] 取締役 技術本部長
加藤 修	パナソニックモバイルコミュニケーションズ[株] 通信システム開発センター所長
木村 勝高	[株]日立製作所 生産技術研究所長
辻 智子	[株]ファンケル 取締役 執行役員 医薬事業開発室長
齊藤 潔	富士ゼロックス[株] 常務執行役員
関根 千佳	[株]ユーディット(情報のユニバーサルデザイン研究所) 代表取締役

敬称略 | 大学名・会社名の五十音順

この他[株]IHJ、[株]星島パワー、日本電信電話[株]に科学技術顧問として参画いただいています。これらの企業からは、アドバイスをいただく内容により選した方をご推薦いただく予定です。

平成20年4月1日現在

教育に関する連携協定

横浜市教育委員会は、慶應義塾大学、横浜国立大学、横浜市立大学及び理化学研究所横浜研究所と教育に関する連携・協力の協定をそれぞれ結んでいます。横浜サイエンスフロンティア高校では、協定に基づき、3大学や理研から幅広いサポートを受けます。

学校説明会スケジュール

7月26日[土]	鶴見公会堂 JR京浜東北線「鶴見駅」徒歩1分
8月9日[土]	横浜市立大学 シーガルセンター[金沢八景キャンパス] 京浜急行線「金沢八景駅」徒歩5分
8月23日[土]	西公会堂 「横浜駅西口」徒歩10分
9月20日[土]	都筑公会堂 市営地下鉄線「センター南駅」徒歩5分
11月3日[月・祝]	鶴見公会堂 JR京浜東北線「鶴見駅」徒歩1分 学校施設見学会

学校説明会はどの会場も、午前・午後各1回ずつの開催を予定しています。申し込み方法や時間等の詳細については、6月頃ホームページ等でご案内します。7月～9月の各説明会は同一内容[選考基準・教育内容・学校生活等]の説明を行いますので、都合の良い会場をお選びください。11月3日の学校説明会では、最終的な内容の説明をお話しするとともに説明会終了後に建設中の学校施設の見学会を実施します。

案内図



横浜市立
横浜サイエンスフロンティア高等学校

所在地：横浜市鶴見区小野町6番地
生徒数：1学年6クラス 240名
課程：単位制による全日制
学科：理数科
※学校の名称は、公式には横浜市立学校条例の一部改正について横浜市会の議決を経て確定します。

編集・発行・問い合わせ先

横浜市教育委員会事務局 高等学校教育課
横浜サイエンスフロンティア高校開設準備室
〒231-0017 横浜市中区港町1丁目1番地
TEL：045-671-4378
FAX：045-663-1838
E-mail：ky-sfh@city.yokohama.jp

横浜市広報印刷物登録第193041号
類別・分類C-ME090
平成20年3月31日発行
表紙デザイン：齋藤雄介

YSFHメールマガジン

横浜サイエンスフロンティア高校に関する最新情報[教育内容、学校説明会の予定等]をご希望の方は、学校ホームページにあるYSFHメールマガジン配信の登録をおすすめします
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/index.html>
横浜市教育委員会のトップページから入れます



本校は、横浜開港150周年記念事業として位置づけられ、元氣な横浜を創造する人材育成の拠点として期待されています。



校舎完成予想図

学ぶ楽しさを知る。科学への探究心がPISA[®]型学力を高めます。

自ら学び続けるために、まず学ぶ楽しさを知ること。そのために、課題探究型の学習を行います。「ほんもの体験」から生まれる「もっと知りたい」という知的好奇心。この知的好奇心が「知の探究」へつながるエネルギーとなり、高い学力を育てます。

「なぜ」を育てるプログラム **Science Literacy** [サイエンスリテラシー]

「なぜ」をそのまま終わらせず、課題をしっかりとつかみ、論理的に追究し、さらに、その成果を相手にわかりやすく発表する、このような研究活動の基本となる力を4つのStepで育てます。

- Step1 研究基礎** —— 科学的な見方・考え方、探究学習の基礎を学びます。
- Step2 先端科学実験** —— 生命科学、ナノテク・材料、環境、情報通信の4分野の実験実習を全員が体験します。
- Step3 課題研究ゼミ** —— 興味を持ったゼミに参加し、研究活動を進めます。
- Step4 研究発表** —— 課題研究の成果を科学技術顧問の前で発表するとともに、英語によるプレゼンテーションを行うことを目指します。

1年次		2年次	
Step1 研究基礎	Step 2 先端科学実験	Step 3 課題研究ゼミ	Step 4 研究発表
科学的思考力の育成	先端科学4分野の実験	ゼミによる探究活動	研究発表会
総合テーマ「環境」	生命科学分野	テーマ設定	ポスターセッション
ディベート大会	ナノテク・材料分野	大学研究室連携	校内研究発表会
グループ研究	環境分野	調査研究	優秀研究発表会
研究発表会	情報通信分野	中間発表会	科学賞・コンクール参加
英語プレゼン発表会	課題研究ゼミ選択	研究成果まとめ	海外研修英語プレゼン

実体験を大切にする **Saturday Science** [サタデーサイエンス]

毎月1回土曜日に科学技術顧問の先生が直接実験を指導する「サタデーサイエンス」を開催します。

実験やフィールドワークにより先端科学を体験します。

- —— 科学技術顧問などによる直接指導
- —— 多彩なテーマ(例)「クモの糸のミステリー」「電子レンジで化学反応」
「あなたの遺伝子解析 結果は?」「ガン細胞をのぞいてみよう」
- —— 充実した実験機器
ガスクロマトグラフ質量分析計 [GCMS]、DNAシーケンサー
走査型電子顕微鏡、蛍光顕微鏡、天体観測機器…



「写真上」記念講演
スーパーアドバイザー藤嶋 昭氏(旧19.0.80)
*「写真下」SAGプログラム
「クモの糸の神秘に触れる」

*PISA
The Programme for International Student Assessment [学習到達度調査]の略。OECD [経済協力開発機構]が2000年から3年ごとに行っている調査。
数学的リテラシー、読解力、科学的リテラシー、問題解決能力の4領域について、持っている知識や技能を実生活の様々な場面で活用する力を調査。

理数数学

- 系統的な学習
- 数学的思考力の育成
- 少人数学習の展開

理数理科

- 観察実験の重視
- 実体験を伴う知識の獲得
- 全ての授業を実験室展開

* 理数数学、理数理科は
科学技術顧問等と
カリキュラムの共同開発を
行っています。

理数科目の強化 **理数数学・理数理科**

一般の普通科高校より、数学及び理科を4単位多く学びます。充分な時間で系統的な学習をすすめ、数学的な思考力を育てます。また、観察実験などを増やし、実体験の伴う知識の獲得をはかります。[単位数は3年間の必修時間の比較。4単位は117時間相当。]

横浜サイエンスフロンティア高校と普通科高校の 数学、理科の必修修時間数の比較

科目	横浜サイエンスフロンティア高校	単位数	普通科高校	単位数		
数学	横浜サイエンスフロンティア高校	15単位	[理数数学]	普通科高校	11単位	[数学]
理科	横浜サイエンスフロンティア高校	12単位	[理数理科]	普通科高校	8単位	[理科]

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1年次	Science Literacy	理数数学									理数理科			
2年次	Science Literacy	理数数学									理数理科			
3年次		理数数学		保健体育			国語				英語			

理数系を中心に、高い学力の育成をめざします。

「高い学力」、これは自ら学ぶ力の育成にほかなりません。本校では、一人ひとりの自ら学ぶ力を伸ばすために、少人数学習や土曜講座・夏期講座も充実させ、ていねいに指導します。また、ビジュアル教材を活用した授業を展開するため、全教室にプロジェクターを設置しました。教材は校内LANにより配信され、授業の予習・復習にも活用します。また、職員室に設けた相談コーナーやインターネットの使える生徒用パソコンを用意しました。全教室冷暖房完備をはじめ充実した学習環境です。



コミュニケーションスペース

高い学力を育てる

一人ひとりの学力を伸ばす	◎ 少人数学習 ◎ 土曜講座・夏期講座
ビジュアル教材の活用	◎ 全教室プロジェクター設置 ◎ 授業教材の校内LANによる配信
調べる・学ぶ	◎ パソコン約400台設置 ◎ 図書室 [約3万冊収蔵予定] ◎ 自習室 ◎ コミュニケーションスペース
学習環境の充実	◎ 全教室冷暖房完備 ◎ 全教室校内LAN完備 ◎ 実験室20教室 ◎ 情報教室9教室 ◎ ゼミ室5教室

国際人に必要な、 英語でのコミュニケーション力を育成します。

英語を使って自分の意見を正しく相手に伝える、そのためにはまず正確な日本語を使う力を養わなければなりません。国語の時間に行う「言語活動」は論理的思考力とともにコミュニケーション力を高めます。その上に、OCPD*などの実践的な英語力を育てる授業を行います。さらに、サイエンスリテラシーの研究発表や海外研修や国際交流でのプレゼンテーションなど、様々な英語を使う場面があります。



英語によるコミュニケーション力

- 国語による「言語活動」との連携
- 海外研修での英語プレゼン
- プレゼンテーションスタジオ 2教室設置
- CALL*2教室 4教室設置

*1 OCPD [Oral Communication for Presentation and Debate]
横浜サイエンスフロンティア高校で行う実践的な英語力を培う授業

*2 CALL [Computer Assisted Language Learning]
コンピュータを活用した言語学習教室

5	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
産数 情報	公民	芸術	保健体育	国語										英語							ホーム ルーム
地理歴史		家庭	保健体育	国語										英語							
選択科目																					

選択科目

自分の望む進路を実現するためには、毎日の学習の積み重ねとともに、選択科目の選び方も大切です。国公立理系、難関私立理系をはじめ、国公立文系への進学にも対応する選択科目を配置します。

国公立・難関私立大学進学に対応した選択科目 [例]

国公立理系 [医・歯・薬]	理数数学探求 理数物理 理数化学 理数生物 現代文研究 古典 倫理 発展英語
国公立理系 [理・工]	理数数学探求 理数物理 理数化学 現代文研究 古典 政経 発展英語
私立理系	理数数学探求 理数物理 理数化学 発展英語
国公立文系	現代文研究 小論文研究 古典 世界史研究 日本史研究 理数化学 発展英語

横浜サイエンスフロンティア高校の時間割

1校時	8:45~10:20	95分
2校時	10:30~11:20	50分
3校時	11:30~12:20	50分
昼休み	12:20~13:05	45分
4校時	13:05~14:40	95分
5校時	14:50~15:40	50分

95分授業を採用

- 実験、実習、実技を中心とする教科・科目に95分授業を採用 (例)サイエンスリテラシー・理数理科・理数数学・芸術・体育・家庭
- 95分と50分を効果的に組み合わせた、1日5科目の集中した学習
- 終業時刻が15:40で、放課後の時間も十分に確保

一生の友をつくる、貴重な学校生活が待っています。

グラウンド、テニスコート、アリーナ、プール、音楽室、天体観測ドーム、学校生活を彩る部活動の舞台にも恵まれています。また海外研修旅行や国際交流プログラムも行います。

学校行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● スーパーアドバイザー講演会							● サイエンスリテラシー研究発表会				
● 宿泊オリエンテーション [1年]							● 海外研修旅行 [2年]				
		● 校外学習	● 夏期講座					● 語学研修 [1・2年希望者]			
		● 体育祭 [初年度は10月を予定]	● 文化祭					● 球技大会			

部活動

充実した高校生活を送る上で、部活動の果たす役割は大きいと考えています。

限られた時間を有効に活用し、集中力を養います。

充実した施設・設備

- 夜間照明付グラウンド
- 全天候型テニスコート
- アリーナ [体育館]
- 柔剣道場
- プール
- トレーニングルーム
- ホール
- 音楽室
- 先端科学実験室
- 情報教室
- 天体観測ドーム

部活動は、恵まれた施設・設備を生かし、1期生の手によって作ります。

各種科学賞などに挑戦する部活動も行えます。

海外研修旅行 国際交流

- 各自の研究成果の英語プレゼンテーション
- 海外の文化や自然について学習
- 国際交流による英語力向上



施設完成予想図

- 上から
- リバービューラウンジ
- ホール [370席]
- カフェテリア [約200席]

※教育内容や学校生活の説明は、現在の予定です。今後の検討により若干変わることがあります。